

関西学院大学主催

UNHCR講演会

国連難民高等弁務官の 過去、現在そして未来

関学大は07年度から国連難民高等弁務官（UNHCR）駐日事務所と協定を結び、日本で初めて難民を正規学生として迎え、現在、4人の難民が学んでいます。UNHCR駐日副代表の岸守一氏が難民問題の現状や難民支援、そしてUNHCRの取り組みの変容について語ります。

■講師■

岸守一（きしもり・はじめ）
国連難民高等弁務官（UNHCR）
駐日副代表



東京大学文学部卒業、外務省入省。1988 - 90年、米ジョージタウン大学高等国際問題研究大学院（SAIS）修士課程修了。1999年より在ジュネーブ国際機関日本政府代表部に勤務。2001年より1年間UNHCR執行委員会のラポトウール（本会議への報告者）を勤める。その後、タイ王国日本大使館での勤務を経て、2005年6月より現職。

日時 2008年10月3日（金）
第5時限 16:50～18:20
場所 関西学院大学神戸三田キャンパス
II号館 - 201号教室

全学部生対象、事前申込不要。

総合政策学部開講科目「国際問題」（担当：西本昌二教授）内、開催。

問い合わせ先：関西学院広報室（0798-54-6017）

KWANSEI GAKUIN UNIVERSITY